

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年2月13日

【四半期会計期間】 第80期第3四半期(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

【会社名】 中日本興業株式会社

【英訳名】 Nakanihon KOGYO CO.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 服部 徹

【本店の所在の場所】 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号

【電話番号】 名古屋(551)0272～0274

【事務連絡者氏名】 取締役 経理部担当 経理部上席部長 三田 則男

【最寄りの連絡場所】 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号

【電話番号】 名古屋(551)0272～0274

【事務連絡者氏名】 取締役 経理部担当 経理部上席部長 三田 則男

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第79期 第3四半期 連結累計期間 | | 第80期 第3四半期 連結累計期間 | | 第79期 | |
|---|-------------------------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|--------|-------------------------|
| | 自 至 | 平成23年4月1日 平成23年12月31日 | 自 至 | 平成24年4月1日 平成24年12月31日 | 自 至 | 平成23年4月1日 平成24年3月31日 |
| 売上高 | (千円) | 2,402,578 | | 2,549,884 | | 3,152,053 |
| 経常利益又は経常損失() | (千円) | 37,259 | | 110,653 | | 52,987 |
| 四半期純利益又は四半期(当期)純 損失() | (千円) | 41,161 | | 49,356 | | 71,954 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | 34,345 | | 69,624 | | 46,136 |
| 純資産額 | (千円) | 2,983,737 | | 3,003,746 | | 2,966,454 |
| 総資産額 | (千円) | 4,551,088 | | 4,576,063 | | 4,465,417 |
| 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失金 額() | (円) | 76.38 | | 91.59 | | 133.52 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 | (円) | | | | | |
| 自己資本比率 | (%) | 65.6 | | 65.6 | | 66.4 |

| 回次 | 第79期 第3四半期 連結会計期間 | | 第80期 第3四半期 連結会計期間 | |
|-------------------------------------|-------------------------|---------------------------|-------------------------|---------------------------|
| | 自 至 | 平成23年10月1日 平成23年12月31日 | 自 至 | 平成24年10月1日 平成24年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額() | (円) | 47.53 | | 43.10 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。

2. 売上高には、消費税等は含まれていない。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はない。

また、主要な関係会社についても異動はない。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はない。

なお、重要事象等は存在していない。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものである。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景として、景気に緩やかな回復傾向が見られたものの、海外経済の減速等、依然として先行きは不透明な状況が続いている。

このような状況の中、当社グループは、顧客満足度の高いサービスの提供を図るとともに、積極的な営業活動を展開し、また適正な経費のコントロールに努めてきた。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績としては、売上高は25億49百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は1億6百万円（前年同期は営業損失40百万円）、経常利益は1億10百万円（前年同期は経常損失37百万円）、四半期純利益は49百万円（前年同期は四半期純損失41百万円）となった。

セグメントの業績を示すと、次のとおりである。

シネマ事業

シネマ事業においては、洋画では「アベンジャーズ」「バイオハザード リトリビューション」、邦画では「BRAVE HEARTS 海猿」「踊る大捜査線 THE FINAL」、アニメでは「おおかみこどもの雨と雪」「エヴァンゲリオン新劇場版：Q」等が高稼働した。

このような状況の中、当事業では劇場宣伝の強化を図り、徹底した経費の削減に努めた。また、デジタルシネマシステムの導入により、より柔軟かつ効率的な番組編成が可能となり、稼働率アップに寄与した。

その結果、売上高は17億87百万円（前年度期比7.8%増）、セグメント利益は90百万円（前年同期はセグメント損失20百万円）となった。

リラクゼーション事業

リラクゼーション事業においては、地域に密着した運営を心掛け、各種イベント等も積極的に実施し、お客様に愛される施設運営に努めた。その結果、売上高は6億25百万円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益は4百万円（前年同期はセグメント損失27百万円）となった。

アド事業

アド事業においては、顧客の広告宣伝費等の圧縮や価格競争等がある中、安定した収益を確保するために、既存分野に集中し、定期案件の増加に努めた。その結果、売上高は1億36百万円（前年同期比5.8%減）、セグメント利益は2百万円（前年同期はセグメント損失3百万円）となった。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は45億76百万円（前連結会計年度末比2.5%増）となった。

流動資産は、8億19百万円（前連結会計年度末比26.8%増）となった。これは主に、現金及び預金の1億95百万円の増加等によるものである。

固定資産は、37億56百万円（前連結会計年度末比1.6%減）となった。これは主に、有形固定資産の74百万円の減少等によるものである。

流動負債は、6億10百万円（前連結会計年度末比19.6%増）となった。これは主に、支払手形及び買掛金の35百万円の増加等によるものである。

固定負債は、9億61百万円（前連結会計年度末比2.7%減）となった。これは主に、長期借入金の1億14百万円の減少等によるものである。

純資産は、30億3百万円（前連結会計年度末比1.3%増）となった。これは主に、利益剰余金の17百万円の増加等によるものである。

なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末の66.4%から65.6%となった。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はない。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 2,000,000 |
| 計 | 2,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成25年2月13日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|---|-----------------------------|------------------------------------|---|
| 普通株式 | 540,000 | 540,000 | 名古屋証券取引所 (市場第2部) | 株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式 単元株式数は100株である |
| 計 | 540,000 | 540,000 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項なし。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項なし。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|-------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成24年12月31日 | | 540,000 | | 270,000 | | 13 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はない。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|------------------------|----------|-------------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 1,100 | | 株主としての権利内容に制限のない標準となる株式 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 536,600 | 5,366 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 2,300 | | 同上 |
| 発行済株式総数 | 540,000 | | |
| 総株主の議決権 | | 5,366 | |

- (注) 1. 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしている。
 2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の株式26株が含まれている。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 中日本興業株式会社 | 名古屋市中村区名駅四丁 目7番1号 | 1,100 | | 1,100 | 0.20 |
| 計 | | 1,100 | | 1,100 | 0.20 |

2 【役員の状況】

該当事項なし。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成している。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、公認会計士田中誠治氏、安部正明氏による四半期レビューを受けている。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 354,064 | 549,938 |
| 受取手形及び売掛金 | 98,040 | 101,188 |
| 有価証券 | 70,114 | 40,138 |
| たな卸資産 | 7,204 | 9,977 |
| 繰延税金資産 | 27,140 | 27,140 |
| その他 | 90,611 | 91,492 |
| 貸倒引当金 | 1,293 | 656 |
| 流動資産合計 | 645,883 | 819,221 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 2,406,481 | 2,281,692 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 155,873 | 226,488 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 112,160 | 91,568 |
| 土地 | 179,153 | 179,153 |
| 有形固定資産合計 | 2,853,669 | 2,778,901 |
| 無形固定資産 | | |
| 電話加入権 | 1,147 | 1,147 |
| ソフトウェア | 29,070 | 17,402 |
| 無形固定資産合計 | 30,218 | 18,550 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 291,450 | 322,810 |
| 差入保証金 | 613,918 | 613,141 |
| 長期前払費用 | 1,836 | 6,050 |
| 繰延税金資産 | 28,441 | 17,387 |
| 投資その他の資産合計 | 935,646 | 959,390 |
| 固定資産合計 | 3,819,534 | 3,756,841 |
| 資産合計 | 4,465,417 | 4,576,063 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 241,106 | 276,955 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 156,204 | 154,104 |
| リース債務 | 13,250 | 22,071 |
| 未払金 | 2,455 | 5,416 |
| 未払法人税等 | 2,120 | 32,332 |
| 未払消費税等 | 2,426 | - |
| 未払費用 | 52,443 | 54,099 |
| 役員賞与引当金 | - | 4,500 |
| 賞与引当金 | 13,388 | 6,660 |
| その他 | 27,321 | 54,506 |
| 流動負債合計 | 510,716 | 610,647 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 498,140 | 384,128 |
| リース債務 | 15,085 | 103,204 |
| 役員退職慰労引当金 | 107,020 | 113,998 |
| 退職給付引当金 | 53,470 | 57,001 |
| 資産除去債務 | 49,473 | 50,573 |
| 受入保証金 | 265,044 | 252,750 |
| 繰延税金負債 | 11 | 11 |
| 固定負債合計 | 988,246 | 961,668 |
| 負債合計 | 1,498,963 | 1,572,316 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 270,000 | 270,000 |
| 資本剰余金 | 13 | 13 |
| 利益剰余金 | 2,656,845 | 2,673,869 |
| 自己株式 | 10,428 | 10,428 |
| 株主資本合計 | 2,916,430 | 2,933,454 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 50,024 | 70,292 |
| その他の包括利益累計額合計 | 50,024 | 70,292 |
| 純資産合計 | 2,966,454 | 3,003,746 |
| 負債純資産合計 | 4,465,417 | 4,576,063 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|-------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 2,402,578 | 2,549,884 |
| 売上原価 | 1,135,232 | 1,176,450 |
| 売上総利益 | 1,267,345 | 1,373,433 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 広告宣伝費 | 40,320 | 29,154 |
| 人件費 | 436,319 | 411,188 |
| 役員賞与引当金繰入額 | - | 4,500 |
| 賞与引当金繰入額 | 6,894 | 6,660 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 7,013 | 6,978 |
| 退職給付費用 | 6,600 | 3,783 |
| 減価償却費 | 168,266 | 175,753 |
| 地代家賃 | 290,971 | 288,648 |
| 水道光熱費 | 128,425 | 132,000 |
| 修繕費 | 3,941 | 7,019 |
| 貸倒引当金繰入額 | 387 | - |
| その他 | 218,349 | 200,793 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,307,489 | 1,266,480 |
| 営業利益又は営業損失() | 40,143 | 106,953 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 340 | 167 |
| 受取配当金 | 6,213 | 7,209 |
| 協賛金収入 | 95 | 5,000 |
| 補助金収入 | 6,811 | - |
| 貸倒引当金戻入額 | - | 637 |
| その他 | 2,087 | 2,060 |
| 営業外収益合計 | 15,548 | 15,074 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,662 | 7,756 |
| その他 | 3,001 | 3,617 |
| 営業外費用合計 | 12,663 | 11,374 |
| 経常利益又は経常損失() | 37,259 | 110,653 |
| 特別利益 | | |
| 資産除去債務履行差額 | 29 | - |
| 特別利益合計 | 29 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 313 | 998 |
| 固定資産除却損 | 22,288 | 28,709 |
| 固定資産処分損 | - | 234 |
| 投資有価証券評価損 | 4,094 | - |
| 特別損失合計 | 26,696 | 29,943 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 63,926 | 80,710 |
| 法人税等 | 22,764 | 31,353 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失() | 41,161 | 49,356 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 41,161 | 49,356 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|---|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失() | 41,161 | 49,356 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,815 | 20,268 |
| その他の包括利益合計 | 6,815 | 20,268 |
| 四半期包括利益 | 34,345 | 69,624 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 34,345 | 69,624 |

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項なし。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項なし。

【会計方針の変更等】

該当事項なし。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年12月31日) |
|---------|--|
| 税金費用の計算 | 税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算している。 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項なし。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項なし。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していない。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりである。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 185,093千円 | 191,418千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 16,167 | 30 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月27日 | 利益剰余金 |
| 平成23年11月11日 取締役会 | 普通株式 | 16,166 | 30 | 平成23年9月30日 | 平成23年12月2日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項なし。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項なし。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 16,166 | 30 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月27日 | 利益剰余金 |
| 平成24年11月12日 取締役会 | 普通株式 | 16,166 | 30 | 平成24年9月30日 | 平成24年12月4日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項なし。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項なし。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額 |
|-------------------|-----------|----------|---------|-----------|---------|---------------|
| | シネマ | リラクゼーション | アド | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,657,734 | 599,494 | 145,348 | 2,402,578 | | 2,402,578 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 144,976 | 490 | 1,302 | 146,769 | 146,769 | |
| 計 | 1,802,710 | 599,985 | 146,651 | 2,549,347 | 146,769 | 2,402,578 |
| セグメント損失() | 20,924 | 27,289 | 3,832 | 52,046 | 11,902 | 40,143 |

(注) 1. セグメント損失()の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っている。
 2. セグメント損失()の調整額11,902千円は、主にセグメント間取引消去額である。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額 |
|-------------------|-----------|----------|---------|-----------|---------|---------------|
| | シネマ | リラクゼーション | アド | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,787,180 | 625,806 | 136,898 | 2,549,884 | | 2,549,884 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 150,360 | 469 | 1,722 | 152,552 | 152,552 | |
| 計 | 1,937,540 | 626,275 | 138,620 | 2,702,436 | 152,552 | 2,549,884 |
| セグメント利益 | 90,761 | 4,277 | 2,889 | 97,928 | 9,024 | 106,953 |

(注) 1. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。
 2. セグメント利益の調整額9,024千円は、主にセグメント間取引消去額である。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|----------------------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() | 76円38銭 | 91円59銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円) | 41,161 | 49,356 |
| 普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円) | 41,161 | 49,356 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 538,887 | 538,874 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

2 【その他】

第80期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当については、平成24年11月12日開催の取締役会において、平成24年9月30日の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決定した。

| | |
|--------------------|------------|
| 配当金の総額 | 16,166千円 |
| 1株当たりの金額 | 30円 |
| 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成24年12月4日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月13日

中日本興業株式会社
取締役会 御中

田中誠治公認会計士事務所

公認会計士 田 中 誠 治 印

公認会計士安部正明事務所

公認会計士 安 部 正 明 印

私たちは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている中日本興業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私たちの責任は、私たちが実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

私たちは、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

私たちが実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、中日本興業株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。